

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・年末への期待を込め、多少なりとも景気は良くなっていくだろう。
		百貨店（販売促進担当）	・衣料品や高額品は苦戦が続いていたが、やや改善の兆しが見えてきた。
		コンビニ（商品担当）	・今後、大型商品の投入を予定しており、それを契機に来店客数が増え、全体の売上が増えることを期待している。
		家電量販店（店員）	・賞与前に新商品の発売があるため、賞与時期から新生活準備時期にかけて、売上は若干改善されるだろう。
		乗用車販売店（役員）	・11月以降に新車投入などが予定されており、下期の受注及び登録件数は増えるだろう。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・当社の周年祭を催す11月は、1年で2番目に売れる月である。12月も年末であるため、大変良くなるだろう。
		タクシー運転手	・12月は忘年会等、1月は新年会等で、人の動きが毎年多い時期なので少し良くなる。ただ、4～5年前と比べて、特に10月の客数は20%くらい下落している。
		通信会社（支店長）	・年末にかけて商戦が盛り上がることや、中国の景気減速感が薄らいできていることなどから、景気は少し良くなるとみている。
	通信会社（営業担当）	・冬モデルが順次投入され、販売数が伸びると期待している。	
	変わらない	商店街（代表者）	・11月は様々なイベントが予定されている。12月は歳末売出しに加え、新規オープンした商業施設の効果も続くと見込まれ、このままの状況で推移するのではないかと。
		商店街（事務局長）	・10月下旬に私鉄駅ビルに大型商業施設がオープンした影響は、当初懸念していたほどは感じられないが、パイが変わらない中での競合であり、今後どう影響が出てくるか気がかりである。回遊性が発生し、相乗効果が生まれる関係が望ましい。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・大型店のオープンが続き、その影響を受けている。
		百貨店（営業担当）	・顧客動向は天候に左右されやすいうえ、依然、買いたい物しか買わない状況が続いている。
		スーパー（企画担当）	・今後、競合店の出店も計画されているので、客数は更に厳しい状況になると予測している。
		スーパー（財務担当）	・昨年と比べると賞与増も見込まれることから、年末商戦は堅調に推移するだろう。
		コンビニ（総務）	・天候や気温に左右されるものの、他に変化する要因がないので、現状のまま推移するだろう。
		衣料品専門店（経営者）	・10月20日以降の動きが相当鈍い。11月以降は、寒くならない限り、厳しい状況となる見込み。
		衣料品専門店（総務担当）	・顧客は最低限の物で買物を抑える傾向が依然として強く、客単価の上昇はまだまだ先になると考えており、売上も厳しい状態で推移すると考えている。
乗用車販売店（従業員）		・年内にモデルチェンジをする新型車が値上がりすることが販売台数にどのように影響するのか不安である。	
乗用車販売店（従業員）	・年末発売の新型車に期待しているが、実質的には来年の納車となるため、年内は厳しい状況が続くと予想している。		
乗用車販売店（従業員）	・年末に期待できる新型車が発売されるが、その他はほとんど変わらない状況が続くそう。		
乗用車販売店（営業担当）	・お買い得感を提案するなどの販売施策を打ち出しているが、ユーザーの購買意欲は冷えきっている。年内の軽自動車市場は厳しい状況にある。		
住関連専門店（経営者）	・大企業はかなり順調に景気回復しているようだが、中国経済の減速などで今後、少し悪い状態が続く気がする。		
その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・必要なものだけ購入する姿勢が強く感じられる。		
その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・客単価は上昇しているものの、来店客数が減っており、大きな変化はないだろう。		
観光型旅館（経営者）	・忘年会の予約状況は昨年とあまり変わっていない。予約を見る限り、一定の消費はあると思う。		
都市型ホテル（経営者）	・若干上振れする可能性はあるが、宿泊、宴会の予約状況、料飲の動きなどは今のところ変動がない。		
旅行代理店（支店長）	・年末年始の日並びがあまり良くないため、特にロング方面の海外旅行需要の伸びは期待できない。		

		通信会社（営業担当）	・年末商戦が終わり、落ち着いた需要になると想定している。
		通信会社（企画）	・特に大きな変化があるような要素はなく、変わらない。
		ゴルフ場（従業員）	・今のところ、現状維持で推移していくとみているが、まだまだ波のある状況で、2～3か月先は悪くなるかもしれない。
		競艇場（職員）	・例年、12月の売上は増えるのだが、昨年は一昨年と比べて7%減少した。今年も年末に大きなレースが開催されるが、売上増はあまり期待できない。
		美容室（経営者）	・何か策がないと変化はないだろう。
		美容室（経営者）	・先行きは不透明であり、良くなる要素が見当たらない。
		設計事務所（所長）	・ここ数か月、仕事の手持ち量が目一杯になっている。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・地方では、車社会が更に進み、橋や道路の整備に予算が投入されるが、道路は逆に混雑してくる。しかも、流出人口が流入をはるかに上回る悪条件が重なっている。道路や橋への予算の重点配分は時代的に間違っているのではないか。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・年末年始に向けて良くなると期待しているが、仕入値が高くなってきているのが気になる。商品の高騰で、購買意欲が落ちるのではと心配している。
		スーパー（店長）	・良い物があまり売れない中、物価だけは上がっているように感じる。値頃感のある商品がもう少し増えなければ、景気が上がってこないだろう。
		コンビニ（店長）	・普段来店しない層が来店してくれているが、一般の主婦層、週末の家族連れ、レジャー客が減少しており、急減速を感じる。秋祭りも終わり、冬の賞与まで節約モードに切り替わっただけならいいのだが。
		コンビニ（店長）	・依然として売上が回復せず、客単価が低下の一途をたどっている。顧客の動向からは、景気回復が感じ取れる状況にない。
		衣料品専門店（経営者）	・来客数や販売量の動きから、年末に向けて、あまり良くならないのではと感じている。
	悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・景気が良くなる要素が無く、物を購入してもらうには価格競争になる。
		タクシー運転手	・冬は、四国遍路客がほとんどいないので、売上は3分の2程度に落ち込むだろう。他県の同業者も、「良くない」と言っている。
企業動向関連	良くなる		
(四国)	やや良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・当社が取組んでいる再生エネルギー関連設備の需要は続くとみており、小規模発電所の建設受注が少しずつ増えていくはずだ。
		広告代理店（経営者）	・商業施設のオープンに伴う販促及び地方創生予算関連の事業等で、少しは上向くと期待している。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・一般消費者の所得向上が見込めず、受注量増加の期待も薄い。
		繊維工業（経営者）	・人口減少、高齢化などに加え、小売チェーン店の出店ラッシュ、後継者問題の影響で、今後、地方都市が良くなる可能性は極めて低い。
		木材木製品製造業	・大きな受注量の変化は見込めない。ただし、現状が悪いわけではない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・海外の受注量を注視していく必要があるが、国内が堅調であり、大きな変化はないと推測している。
		建設会社（経理担当）	・公共工事が増えないため、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・2～3か月は、現状と変わらないだろう。
		輸送業（経営者）	・相変わらず行政に危機感を感じられない。
		輸送業（営業）	・12月は一般消費財の動きが弱含みながらも活発化する事から、製造業を中心とする荷主の物量も相応に増加すると見込んでいる。運賃値上げが停滞している運送事業者の台所事情は例年にも増して厳しく、荷主側の輸送車両不足は一段と深刻化するだろう。昨年に比べ、若干ながら値下がりしている燃料油価格の反転上昇を危惧している。
		通信業（総務担当）	・良くなる要素も悪くなる要素も見つからない。
		通信業（部長）	・受注量及び取引先の動向を見ると、大きくは変わらないだろう。
		金融業（副支店長）	・中国の景気減速の影響が出てきており、今後は厳しくなるだろう。
		公認会計士	・企業の経営者との話では、設備投資に前向きな意見はない。ホテル・産業廃棄物関係は設備投資の話も少しは出てきているが、その他の業種では消極的である。当面は、景気に変動がないだろう。
	やや悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・現状の受注量は造船関係、産業用機械共に減少傾向にあり、先行きの生産・売上量共に悪化傾向にある。

		建設業（経営者）	・公共事業の発注量が昨年より減少していることに加え、事業内容が偏っているため、企業間の仕事量の格差が大きくなっている。今の状態が今後も続き、良くなる要素も見つからないため、悪くなっていくと見ている。
		輸送業（支店長）	・取扱貨物の減少により、路線便の幹線輸送車両の減便や貨物の集約による輸送車両の減車などで、積載効率を上げ、コストを削減する傾向にある。
	悪くなる	-	-
雇用 関連  (四国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・年末にかけて、ますます人手不足は強くなり、労働意欲が高まる魅力的な求人企業に人は集まる。季節商戦に入中、世帯収入は改善され、消費者の景気は緩やかに良くなるだろう。
		職業安定所	・9月の有効求人倍率は1.19倍であり、前月比0.02ポイント、前年同月比0.18ポイント上昇していることから、今後は「やや良くなる」と思われる。
		民間職業紹介機関（所長）	・業績が堅調な企業の中には賞与を前年より多少増額しようと考えているところもある。
		学校 [ 大学 ]（就職担当）	・月別求人数が好調である。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・年末商戦を控え、求人が一時的に増加することも予想されるが、現状の企業の動きを見ると、例年とほぼ横ばいな気配となっている。
		求人情報誌（営業）	・人手不足により、求人広告は引き続き出続けているが、充足が見込めないため、広告出稿が多くなることは見込めない。
		新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	・マイナンバー制度の導入により、各社とも混乱するのは必至だろう。販促以前にシステム構築に注力を要する。また、年未年始の日並びも悪く、消費者も所得が上がっていないことから、財布のひもは固いだろう。
		職業安定所（職員）	・労働者の賃金に上昇が見られないことや、時給の従業員を募集するなど、景気が上昇している中では見られない動きがある。
		職業安定所（職員）	・中国経済の景気後退への懸念が日本企業にも出始めているのではないかと。
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・製造関係の求人が減少しており、求職者の確保が難しく、ミスマッチが目立つ。労働者派遣法改正で採用担当者が慎重になっており、今後の景気に不安がある。	
	求人情報誌製作会社（従業員）	・例年、年末にかけ、求人数が減少する。	
	悪くなる	-	-